



2023年4月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年12月12日

上場会社名 神島化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4026 URL <https://www.konoshima.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 高橋 誠

TEL 06-6110-1133

四半期報告書提出予定日 2022年12月12日

配当支払開始予定日

2023年1月16日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年4月期第2四半期の業績(2022年5月1日～2022年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第2四半期	11,478	10.6	1,060	7.5	1,052	8.9	621	17.6
2022年4月期第2四半期	10,377	7.5	1,146	103.6	1,155	93.6	753	87.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年4月期第2四半期	68.76	68.39
2022年4月期第2四半期	83.14	82.57

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年4月期第2四半期	26,124	9,820	37.4
2022年4月期	24,697	9,365	37.7

(参考)自己資本 2023年4月期第2四半期 9,761百万円 2022年4月期 9,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年4月期		18.00		18.00	36.00
2023年4月期		20.00			
2023年4月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年4月期の業績予想(2022年5月1日～2023年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,800	9.2	2,200	5.9	2,200	5.5	1,500	9.8	165.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年4月期2Q	9,240,000 株	2022年4月期	9,240,000 株
期末自己株式数	2023年4月期2Q	198,194 株	2022年4月期	213,369 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年4月期2Q	9,033,132 株	2022年4月期2Q	9,064,469 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され、景気は緩やかに持ち直しました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化、原材料やエネルギー価格の上昇、急激な円安の進行などにより、先行きは不透明な状況が続いております。

当社建材事業の主要マーケットである住宅市場において新設住宅着工戸数は、貸家は増加しましたが、持家が減少し、全体としては442千戸と前期比0.7%の減少となりました。

このような状況の中、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は11,478百万円と前年同四半期比1,100百万円(10.6%)の増収となりました。営業利益は1,060百万円と前年同四半期比85百万円(7.5%)の減益、経常利益は1,052百万円と同103百万円(8.9%)の減益、四半期純利益は621百万円と同132百万円(17.6%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①建材事業

住宅分野は、当社の強みである「基材の強み」に「塗装技術」を掛け合わせた高付加価値製品の高級軒天ボードの販売量が大幅に増加しました。

非住宅分野は、都市型高層ビル用の耐火パネルが好調に推移しました。

これらの結果、売上高は6,916百万円と前年同四半期比433百万円(6.7%)の増収となりました。セグメント利益(営業利益)は、燃料費や原材料価格の上昇を受けましたが、増収効果や値上げ・各種コスト削減による収益改善により、577百万円と同29百万円(4.8%)の減益に留めました。

②化成事業

マグネシウムは、国内の医療用途・海外の健康関連のサプリメント需要好調により酸化マグネシウムが増収し、海外の工業用途の難燃水酸化マグネシウムも増収となりました。前期末に完成した酸化マグネシウム顆粒設備は稼働しております。

セラミックスは、蛍光体製品を中心に堅調に推移しました。前期に新工場が完成し、順次設備が稼働開始しております。

これらの結果、売上高は4,562百万円と前年同四半期比667百万円(17.1%)の増収となりました。セグメント利益(営業利益)は、燃料費や原材料価格の上昇に対して、値上げを進めましたが、吸収するには至らず、767百万円と同89百万円(10.5%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は26,124百万円となり、前事業年度末(以下、「前年度」という。)に比べ1,427百万円増加いたしました。主な増加要因は、有形固定資産が1,438百万円増加したことによるものであります。

負債は16,304百万円と前年度に比べ972百万円増加いたしました。主な増減要因は、短期借入金が増加、電子記録債務が337百万円減少したことによるものであります。

純資産は9,820百万円と前年度に比べ454百万円増加いたしました。主な増加要因は、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月期の業績につきましては、2022年6月10日の決算発表時に公表いたしました数値から、変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2022年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,871	1,192
受取手形及び売掛金	3,548	3,485
電子記録債権	1,070	1,167
商品及び製品	1,995	2,467
仕掛品	826	943
原材料及び貯蔵品	908	1,075
その他	876	800
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,096	11,130
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,318	4,361
機械及び装置（純額）	3,789	3,857
土地	1,381	1,381
建設仮勘定	2,135	3,461
その他（純額）	641	644
有形固定資産合計	12,266	13,705
無形固定資産	24	52
投資その他の資産		
投資有価証券	343	301
繰延税金資産	779	784
その他	187	150
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,309	1,235
固定資産合計	13,600	14,993
資産合計	24,697	26,124

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2022年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,108	1,997
電子記録債務	1,420	1,082
短期借入金	2,800	4,950
1年内返済予定の長期借入金	599	597
未払法人税等	409	295
賞与引当金	354	366
製品保証引当金	253	208
設備関係支払手形	19	9
設備関係電子記録債務	1,214	1,551
その他	2,009	1,464
流動負債合計	11,188	12,524
固定負債		
長期借入金	1,441	1,143
退職給付引当金	1,875	1,917
その他	825	718
固定負債合計	4,142	3,779
負債合計	15,331	16,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	1,081	1,081
利益剰余金	7,063	7,522
自己株式	△252	△234
株主資本合計	9,212	9,689
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	94	71
評価・換算差額等合計	94	71
新株予約権	59	59
純資産合計	9,365	9,820
負債純資産合計	24,697	26,124

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年5月1日 至2021年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自2022年5月1日 至2022年10月31日)
売上高	10,377	11,478
売上原価	6,983	8,154
売上総利益	3,394	3,324
販売費及び一般管理費	2,248	2,263
営業利益	1,146	1,060
営業外収益		
受取配当金	6	9
物品売却益	15	8
その他	12	10
営業外収益合計	33	28
営業外費用		
支払利息	17	29
その他	6	6
営業外費用合計	23	35
経常利益	1,155	1,052
特別損失		
工場構築費用	97	98
固定資産除却損	9	32
訴訟関連損失	—	40
投資有価証券売却損	—	1
特別損失合計	106	173
税引前四半期純利益	1,049	878
法人税、住民税及び事業税	300	253
法人税等調整額	△4	4
法人税等合計	295	257
四半期純利益	753	621

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,483	3,894	10,377	—	10,377
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,483	3,894	10,377	—	10,377
セグメント利益	606	857	1,464	△318	1,146

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△318百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△318百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,916	4,562	11,478	—	11,478
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,916	4,562	11,478	—	11,478
セグメント利益	577	767	1,345	△284	1,060

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△284百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△284百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。